

構造改革特区の案として12件の提案を行ったと発表された。国の管轄下にあるハローワークの県への対して地方分権を求める。阪府に次いで2番目。

業に提案を求め、全国から167件の応募があった。埼玉県の提案数は大なることした。このほか、国の出先機

東日本旅客鉄道（JR東日本）と東京急行電鉄は20日、IC乗車券の機

東日本旅客鉄道（JR）が発表した学生証や社員証の発行で提携すると発表した。2011年2月「モ」付きの学生証などを

リサイクル事業を手がける協和産業（埼玉真鴻集市）は物流資材などをほぼ新品の素材に再生できる仕組みを整備する。企画段階からリサイクルを視野に入れ、資材に使う素材の選定や設計などを顧客に提案。再生材の品質の良さが高い競争力につながっている。廃家

## 埼玉のちから

電プラスチックの分別事業などにも乗り出しており、業容の拡大に意欲的だ。「リサイクル対象品は消耗品ではなく、『環境資産』だ」。安藤太郎社長はこう強調する。新品の素材に比べてリサイクル材は劣化するという常識を覆し、ほぼ同質の素材にリサイク

## 協和産業



安藤太郎社長

《会社概要》

- ▽所在地 鴻巣市川面568の1
- ▽社長 安藤太郎 (あんどろ・たろう)
- ▽売上高 約8億円 (2010年3月期)
- ▽従業員数 30人
- ▽事業内容 物流資材などのリサイクル、廃家電の分別など
- ▽電話 048・596・2261



パレットが山積みされ、工場ではフル稼働が続く（行田市の自社工場）

## 廃物流資材、高品質素材に

### 最適な再生、企画から提案

と、独自に開発した洗浄粉砕機という装置にある。従来、コンテナやパレットなどの物流資材にはポリプロピレンやポリエチレンが使われるが、同社は利用する飲料メーカーなどと協力し、企画段階でより詳細な素材を選定する。これが再生したときに強度などを高品質に保てる要素の一つ

と、独自の開発した洗浄粉砕機という装置にある。従来、コンテナやパレットなどの物流資材にはポリプロピレンやポリエチレンが使われるが、同社は利用する飲料メーカーなどと協力し、企画段階でより詳細な素材を選定する。これが再生したときに強度などを高品質に保てる要素の一つ

た素材は、ほとんど新品の素材と同じになる。さらに全国にある物流資材の回収拠点も競争力を下支えしている。同社は全国に協力工場を持ち、自社工場と合わせて14カ所の回収拠点がある。コンテナやパレットなどを運ぶ輸送費が節約できる工夫だ。こうした取り組みが顧客

の困り込みに 2010年3月期は自動車も結びついての内装部品の成型事業で受注が落ち込んだが、物流資材などが下支えして売上高は約8億円と前の期と比べほぼ横ばいだった。09年からはテレビや冷蔵庫などの廃家電に含まれる混合プラスチック分別事業を始めています。水の比重を調整した「比重液」を使ってプラの浮き沈みで混在する部材を分離したり、プラの帯電特性を応用して電磁板に引き寄せたりする技術を組み合わせたりする装置を開発。家電や自動車メーカーからの需要を呼び込んでいます。

# 埼玉

埼玉新聞社 048-822-2680